

《平成30年度事業報告》

公益財団法人 功農支援会

I 基本方針

近年、日本では農業者人口が減少しつつあり農業は衰退の一途をたどっている。新規で農業を始める人は少なく農業者の高齢化・後継者不足が進み日本の食料自給率もカロリーベースで40%を切っている。農業で成功するためには栽培力・販売力・経営力がなくてはならず、これから農業を始める人にとっては一般的な知識のみでは農業を行うことは困難であり、さらに農業を続けていくことは至難の業である。

そこで当財団は、農業の担い手となる人材の育成・確保並びに就農活動、農業活動に対する支援を通じて、農業に関するノウハウと経営手法を伝授し農業の振興と健全な発展に寄与するため、農業研修事業として、新規就農者に対する勉強会や実践研修を通して次世代型農業経営者を育成支援していくことを目的とした新規就農者向け研修プログラムを実施した。また、当財団の資金力を生かし、農業研修を受講している間の研修生への生活支援をするための研修助成金の給付を行った。

尚、平成30年度における研修生の募集活動については、前年度に引き続き新・農業人フェアへの出展や行政機関との連携、功農支援会農業塾を開催。当財団の研修内容を紹介し、全国から研修生の確保に努めたが、有効求人倍率の増加による新規就農希望者が減少する中で、地方自治体の人口減対策による住居・農地斡旋による農業就農支援施策等を受け、新規研修生は4名となった。

また、早期に成り立つ独立就農を支援するため、AIで灌水施肥を管理できる土耕液栽培設備を導入し、研修設備の充実を図った。

II 公益目的事業

1. 農業研修事業

次世代型農業経営者育成のため、就農希望の研修生を募集し、下記のとおり研修プログラムを実施した。

(1) 研修生の募集

①募集期間

第1期生：平成30年4月～平成30年8月

第2期生：平成31年1月～平成31年3月

→募集活動：26回、面談：21名、体験研修受入：5名

②募集定員：10名程度

(ア) 基礎研修コース 8名

- 平成30年 4月 2名研修開始(トマト)
- 5月 1名研修開始(切り花)
- 10月 1名研修開始(トマト)

(イ) 経営者育成研修コース 2名

- 平成30年11月 2名コース変更(トマト)。
- 内1名は法人就職のため、平成31年2月研修修了

③募集方法

下記の方法により、当財団募集要項に沿って全国的に研修生を募集した。

(ア) 当財団ホームページにて公募

- ホームページからの問合せ：5名

(イ) 就農セミナーは開催取りやめ

(ウ) 功農支援会 農業塾を開催 参加者：45名

- ・平成30年10月10日(水) 第一回開催
 - テーマ：「都市農業と6次産業化」
 - 講師：有限会社コスモファーム 代表取締役 中村敏樹氏
 - 参加者：26名
- ・平成30年10月24日(水) 第二回開催
 - テーマ：「先輩農業者から学ぶ「農業の多様性」」
 - 講師：有限会社なかじま園 代表取締役 中寫正子氏
 - 参加者：19名

(エ) 新・農業人フェアに出展 面談：15名

- ・平成30年12月22日(土)
 - 新・農業人フェア大阪(大阪マーチャンダイズ・マート) 出展
 - 面談：9名
- ・平成31年1月26日(土)
 - 新・農業人フェア東京(池袋サンシャインシティ) 出展
 - 面談：6名

(オ) 農業改良普及課、農政課、農業大学校等を訪問 見学面談：1名

- ・平成30年4月19日(木) 田原市役所 産業振興部 農政課、
企画部 人口増企画室、総務部 人事課 訪問
- ・ 5月18日(金) 東三河農林水産事務所 田原農業改良普及課、
農業改良普及課 訪問
- ・ 5月25日(金) 田原市役所 産業振興部 営農支援課 訪問
- ・ 6月12日(火) 愛知県立農業大学校 訪問
- ・平成31年1月29日(火) 愛知県農林水産部 農業経営課 訪問

(2) 研修生の選考

研修生を募集し、基礎研修コースに4名の応募があり面接を行った。選考の結果、基礎研修コースで3名研修生を採用した。また、基礎研修コースを修了し、2名が経営者育成研修コースにコース変更した。

①基礎研修コース

- ・平成30年4月13日(金) 研修候補者面接・選考(トマト)
- ・平成30年5月 7日(月) 研修候補者面接・選考(トマト)
- ・平成30年5月18日(金) 研修候補者面接・選考(切り花)
- ・平成30年8月31日(金) 研修候補者面接・選考(トマト)

②経営者育成研修コース

- ・平成30年11月15日(木) 研修候補者選考(トマト)
- ・平成30年11月20日(火) 研修候補者選考(トマト)

(3) 研修内容

①基礎研修コース(1年)

下記内容の基礎の研修を実施した。

【基礎の研修内容】

- トマト等施設栽培研修 ○生産物販売研修 ○家族経営農業実践研修
- 大規模農園 ○ハウス設備等の操作方法 ○勉強会
- 圃場巡回 ○定例会

②経営者育成研修コース(1年から2年)

下記内容の基礎及び応用研修を実施した。

【基礎の研修内容】

上記基礎研修コースの基礎の研修と同じ内容を実施した。

【応用の研修内容】(1年から2年)

- 研修農場管理 ○大規模農園 ○勉強会 ○圃場巡回 ○定例会

※生産物販売研修 実績：19,928,681円(税込)

※勉強会・圃場巡回・定例会

基礎研修・経営者育成研修にて下記の通り勉強会・圃場巡回・定例会を実施した。

- ・勉強会 : 35回
- ・圃場巡回 : 42回
- ・定例会 : 46回

※実践的 e-ラーニングの開発

栽培技術・農業経営手法等が学べる e-ラーニングプログラムを開発するため、豊橋技術科学大学と共同研究を行った。

※豊橋技術科学大学が開講している「IT食農先導士養成プログラム」の教室講義は希望者がいなかったため、受講はしていない。

(4) 栽培品目

下記の通り大玉トマト、パプリカ、葉ネギ、切り花を栽培した。

- ・大玉トマト . . . 7月上旬収穫終了、8月上旬・中旬定植
- ・パプリカ . . . 6月下旬収穫及び栽培終了
- ・葉ネギ . . . 5月播種、7月から収穫開始（周年栽培）
- ・切り花（キク）. . . 提携農場 イノチオ農芸(株)にて周年栽培

(5) 研修助成金の支給

下記コース該当者に、それぞれ助成金額を支給した。

- ・基礎研修コース : 月額12万円×6名（平成30年4月～平成31年3月）
 - ・経営者育成研修コース : 月額15万円×2名（平成30年12月～平成31年3月）
- 合計 7,402,858円（※日割計算、時短研修による助成金減額あり）

(6) 設備投資

①農産物出荷に関する設備一式を購入した。

完成日：平成30年4月24日（火）

設備一式：4,276,800円（税込）

栽培品目：葉ネギ

②早期に成り立つ独立就農を支援するため、AIで灌水施肥を管理できる土耕液栽培設備を導入した。

完成日：平成30年11月9日（金）

設備一式：3,186,000円（税込）

栽培品目：大玉トマト

Ⅲ 法人事業

1. 理事会の開催

(1) 理事会（決議の省略）

日時：平成30年6月9日（土）

主要議案：平成29年度に係る計算書類・事業報告の承認、
謝金規程の承認

(2) 理事会

日時：平成31年3月16日（土）

主要議案：平成31年度事業計画及び収支予算の承認

2. 評議員会の開催

(1) 定時評議員会

日時：平成30年6月23日（土）

主要議案：平成29年度に係る計算書類・事業報告の承認

3. 農業次世代人材投資事業の申請

農業次世代人材投資資金（準備型）研修機関（愛知県）の認定申請を行い、交付対象の研修先として認定された。

研修機関等認定期間：平成30年7月1日（日）～令和3年3月31日（水）

4. 情報公開

ホームページ等を通して当財団の活動内容および実績並びに研修に関する情報の公開を行い、当財団の認知と事業内容の周知に努めた。

・ブログ更新：17回

・アクセス数延べ：3,031件（平成30年4月～平成31年3月）